



第23回例会

平成19年12月12日(水)
サンパレス福島

本日のプログラム

- 1.開会点鐘 2.RCソング 3.四つのテスト
- 4.会長挨拶 5.ロータリーの友よみどころ12月号
- 6.米山記念奨学会より感謝状贈呈 7.創立記念贈呈
- 8.創業会員スピーチ 9.各委員会報告 10.閉会

今月・来月のプログラム

- 20年 1月 4日 福島市内7RC会同新年会
16日 ゲストスピーチ 高田篤様
23日 PH追悼夜間例会
30日 ゲストスピーチ 横田篤様
2月7日～8日 IAC国際理解研修会

会長挨拶

武藤 正隆会長

皆様、今日は、いつもの様に、先に俳句から
夜の散歩 銀河の岸に そう如し(井沢正江)
星空が美しく散歩に出掛けた。

星を散りばめた中を大きく銀河がわたっている。
この星の橋にしないで眼がひきつけられ、胸一杯に広
がり、やがて、あたかも本当に銀河の流れの岸をたどっ
ているように感じられるといった意味です。

銀河と作者が一体になってしまったと詠まれている
ところがすごいです。「銀河の岸」が決め語ですね。

朗報をお知らせします。昨日、指名委員会からガバ
ナーノミニーの候補者の推薦を一任された県北第一
区ガバナー補佐都通彦氏より、2010～2011年度ガバ
ナーノミニーとして博多義雄氏を推薦するとの推薦状
が当クラブに届きました。今後は12月22日の指名委
員会で正式決定されることとなります。ようやく、40
周年記念事業の一つの目標が達成されることになるこ

とをご報告します。

本日は職業を通じて奉仕して頑張っている会社や企
業の創立記念のお祝品を贈呈する日です。皆様と共に
会員企業の創立記念日をお祝いしたく思っています。

また、職業奉仕委員会の発案の会員による職業を通
じて地域や社会の人々にいかにして奉仕しているかの
体験発表がありますので、拝聴できるのを大変楽しみに
しております。《本日お客様は来られなかった。》

幹事報告

林 克重幹事

家族X'マス例会は気軽な服装でお越し下さい。

◇ロータリーの友12月号読みどころ 佐久間委員長

- 横書P 1 家族月間に困ってRI会長談
P 5 ロータリーの魅力 若手の談話
P15 読み書きの出来る幸せ
識字率援助で、障害者の女子も夢実現
縦書P 2 水への知識
P16 千葉中央RCのPHF会員100%
等、読みどころ多数あります。ぜひお読み下さい。

◇米山奨学金寄贈者表彰

佐久間 功会員(1) 福田 順一会員(1)

◇マルチ米山奨学金寄贈者表彰

- 穴戸 英男会員(7) 植木 洋司会員(4)
斎藤 浩会員(4) 金子 興宏会員(2) 三浦 善治会員(2)

◇米山功労クラブ表彰

当福島南RC(12回目)

◇創業記念品贈呈(但し佐藤信会員は1月創業)

- 斎藤 ミヨ会員 斎藤 善重会員 鈴木 武男会員
鈴木恵美子会員 松崎 弘昭会員 渡辺 勇会員

◇職業奉仕委員会企画・創業記念スピーチ◇

鈴木 武男会員(元福島県議会議員=重鎮)

今回、職業奉仕委員会より会員の職業による職業、社

会、国際奉仕への貢献についての話をとの事。毎回希
望に満ち溢れ、感動する卓話を聞きますが、会社をたち
あげたことがないので、私はご遠慮申し上げたのです
が、なんでもよいとの事(笑) 入会当時は市議員だっ
た私が南RC設立時の35名に加わり、身近かでお付き
あいのある方々との情報交換は有意義で、品格ある
ロータリーのステータスは誇れた。これからも、一片
の奉仕に寄与出来ればと思っております。

松崎弘昭会員(境界のプロ=土地家屋調査士)

皆様今日は！多忙で原稿は書いて来ておりません。
私は昭和60年に土地家屋調査士として活動を始めま
した。が、今の世の中、変化はめまぐるしく、法律の改
正も多く、50才を過ぎると大変です。(笑) 本日は皆様
に関連する事で①土地の境界でお隣とトラブルになっ
た時②トラブルの副産物で裁判で白・黒をつける時、
民間機関として、既に29県で解決センターが出来、来
年には福島にも同センターをたちあげお手伝いをする
事を、弁護士さんと共に出来る様になります。

渡辺 勇会員

当社は一般建築・土木を行っています。先代が昭
和49年12月に法人化、工場設備の増床や車整備機械の
設置等も行っております。住宅建築には特にこだわり
があり、最今は高气密・高断熱住宅の発想ですが、当
社の発想は逆に呼吸する家「通気断熱WB工法」簡単
に表すと昔の土壁の様に夏涼しく冬は暖かい家を実現
し、室内もホルムアルデヒド等の有害物質を全国平均
の十分の一未満に努めています。福田総理も提唱し
ておられる[200年住宅]を検討先人の知恵を加え、よ
い環境住宅を提案し続けます。

佐藤 信会員

ある時、新会員の方より先生と呼ばれておられます
が、農畜高校の先生でおられたのですかと聞かれました。
(笑) 大原病院の付属の研究所で、野免病の研究に
専念しておりました。大原八郎氏が大正14年に設立、
戦争で中断したが大原菅一郎氏が再開し招かれた。
民間で珍しく医学博士を戦前9名と戦後も19名出して
おり、日本・世界に誇れる野免病の専門機関に勤務し、
現在89才です。《ロータリー活動で先生は数々の小冊
子も著書され寄贈されておられる。》

ベトナム研修旅行先に今回ハノイ近郊のインバイ村
の訪問があります。カンノ住研さんが1998年に仲間
と鉄筋7教室を創り、小学生も福島に招待している
との事。大歓迎間違いなし。